

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	生活	グループ名	普通学級（知的・自閉）	
ねらい	(1)活動や体験の過程において、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (2)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (3)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
担当教員	○村山亜美 荒井理佳 国吉美友紀 谷口学人 野中裕樹 森谷芳穂 港月乃			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「くもんのせいかつ図鑑 生活道具カード」くもん出版 「やさしいからだのえほん① からだのなかはどうなっているの？」金の星社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	季節の変化を知ろう①	3	○春の花調べ、昆虫調べ ◆身近な生命や自然の特徴や変化を知る。四季の変化について理解し、それらを表現しようとする。 □タブレット端末や写真を利用する。	
	植物を育てよう①	3	○植物の栽培 ◆植物の成長が分かる。 □1学期内に収穫できる野菜にする。	
6	公共施設の利用をしよう	4	○公園や宿泊施設などの公共施設の利用 ○働く人や仕事調べ ◆公共施設やそこで働く人について知る。 □動画や写真を活用する。移動教室で実際に利用する。	
7 9	季節の変化を知ろう②	3	○夏の昆虫調べ、天気調べ、稲の成長 ◆身近な生命や自然の特徴や変化を知る。植物の成長について理解し、それらを表現しようとする。 □タブレット端末や写真を利用する。 ○水遊び ◆水遊びなどの夏らしい遊びを行うことができる。 □水鉄砲程度の遊びを行う。	
	植物を育てよう②	4	○植物の栽培 ◆植物の成長が分かる。 □2学期内に収穫できる野菜にする。	
10 11	学校で働く人を知ろう	8	○学校で働く人調べ ◆学校で働く人（校長、副校長、養護教諭、主事）の職業名や役割を知る。 □直接話したり、実際の仕事を動画で撮影したりする。	
12 1	動くおもちゃを作ろう	5	○風やゴムの力で動くおもちゃ作り ◆自然やものの仕組みに興味をもち、体験してみる。 □興味関心を引くようなおもちゃを選び、実際に体験することで意欲を高める。	

2 3	中学生にな ろう	5	○中学部の学校生活調べ ◆中学部の教室や授業内容、学校行事などについて知る。 □直接話したり、実際の生活の様子を動画で撮影したりする。	
--------	-------------	---	---	--

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	国語	グループ名	オレンジ	
ねらい	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。 (2) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
担当教員	○国吉美友紀（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば」偕成社 「子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび（上）ひらがな 50 音」太郎次郎社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	なんて答える？	14	○友達に質問することができる。 ◆他人や他人の話しに興味・関心をもてるようにする。 ◆やり取りを通して、周囲の人とよい関係を築こうとする。 □定型文を示して、どのように質問するのかが分かるようにする。 □視覚支援を用いて、内容に応じた質問を導きやすくする。	
6 7	文字遊びをしよう	14	○身近な事物の名称等、平仮名で書かれた文字を声に出して読む ○カードを組み合わせて、言葉を作る ◆平仮名を読むことができる。 ◆イラストや写真等の身近な平仮名に注目したり発声したりすることができる。 ◆役割を理解し、ゲームに取り組むことができる。 ◆身近な物の名称などの平仮名に興味をもつ。 □文節を意識できるように、印を付ける。	
9	文をつくろう①	8	○順序を考え、文を構成する ◆見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。 □主語、述語を意識できるように話型を用いる。	
10 11 12	文をつくろう②	12	○書きたい事柄を見つけ、それに必要な題材を集める ○自分の感情を含めた文章を考える ○友達の発表を聞き、思いや考えを受け止める ○昨日の出来事を文にして伝える ◆身近で見聞きしたり、経験したりしたことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 ◆相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気をつけることができる。 □写真やイラストを活用して、児童が興味関心のある内容を見付けやすくする。	
1	お話を楽し	22	○絵本、紙芝居を見聞きし、お話の世界を味わう	

2 3	もう		<p>○相手に伝わるよう、集団の前で動作や簡単な言葉等で発表したり、活動したりする</p> <p>◆登場人物や話の中に出てくる言葉に関心を持ち、台詞を声に出したり、身振りで表現したりする。</p> <p>◆集団の前で短い台詞や身振りを発表したり、活動したりする。</p> <p>□繰り返しの台詞や児童に身近な物が出てくる話を選ぶ。</p> <p>□児童の実態に合わせて、台詞カードなどを使用する。</p>	
--------	----	--	--	--

学 部	小学部		学 年	第 6 学年
教科等名	国語		グループ名	緑
ねらい	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文化に触れ、親しむことができるようにする。 (2) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を身に付け、思い付いたり、考えたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
担当教員	○荒井理佳 谷口学人（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば」偕成社 「子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび（上）ひらがな 50 音」太郎次郎社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	文字遊びをしよう	14	○身近な事物の名称等が平仮名で書かれた文字を声に出して読む ○カードを組み合わせて、言葉を作る ◆平仮名を読むことができる。 ◆イラストや写真等の身近な平仮名に注目したり、教員と一緒に発声したりすることができる。 □身近な名詞、動詞から始めていく。	
6 7 9	文をつくろう	20	○「は」「が」「を」などの助詞を用いて文を作る ○文から「いつ」「どこで」「誰が」「なにを」を読み取る ◆「行く」「来る」「貸す」「借りる」「立つ」「座る」などの動詞や、形容詞を覚える。 ◆動詞や形容詞を使って、文章を組み立てたり、発表したりする。 □児童の実態に合わせて2 語文、3 語文と課題を変更する。	
10 11 12	身近な言葉を知ろう	22	○言葉の仲間分け ◆乗り物や食べ物、動物などの上位概念から、その下位概念のカテゴリーを知る。 ◆挨拶や日常場面での受け答えの仕方が分かる。 □児童が興味をもつ教材を選ぶ。 □身近な事柄を題材にして行う。	
1 2 3	大きな声で発表しよう	14	○絵本やパネルシアター等を見て楽しむ ○姿勢や口形を意識して、一行読みや丸読みなどで音読する ◆登場人物の名前や台詞を覚えたり、演じたりすることができる。 ◆提示された言葉や絵と同じように動いたり、絵人形やペーパサートを操作したりすることができる。 □繰り返しがあったり、結末が理解しやすかったりする物語を題材にする。 □児童が操作しやすい道具を用意する。	

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	国語	グループ名	黄色	
ねらい	(1)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。 (2)出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
担当教員	○村山亜美 森谷芳穂（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば」偕成社 「子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび（上）ひらがな 50 音」太郎次郎社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	なんて答える？	16	<input type="radio"/> 挨拶など決まった言い方を表現する <input checked="" type="checkbox"/> 学校や家庭で、進んで挨拶をしようという気持ちをもつことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 挨拶を通して、周囲の人とよい関係を築こうとする。 <input type="checkbox"/> 挨拶場面の絵や声の大きさ表などを提示する。 <input type="checkbox"/> 発声が難しい児童には、言葉の一部を模倣することやジェスチャーすることを促す。	
6 7 9	文字遊びをしよう	18	<input type="radio"/> 身近な事物の名称を読んだり、文字を組み合わせてたりして、単語を作る <input checked="" type="checkbox"/> 絵を見たり、友達の発表を聞いたりして、身近な言葉を知る。 <input checked="" type="checkbox"/> 文字を組み合わせて単語を作ることができる。 <input type="checkbox"/> 活動パターンを単純化し、何度も取り組むことで、活動に見通しをもたせ、自信をもって取り組めるようにする。 <input type="checkbox"/> 発声が難しい児童には、口形模倣を促す。	
10 11 12	文字の理解を深めよう	18	<input type="radio"/> 食べ物や道具などの名称を知り、清音や濁音、半濁音、促音などが含まれた平仮名单語を読む <input type="radio"/> 平仮名 50 音や身近な単語、友達の名前などを読んだり、書いたりする <input checked="" type="checkbox"/> 身近な物の名称、自分や友達の名前、絵本などに出てくる平仮名に関心を持ち、声に出したり、読んだりする。 <input checked="" type="checkbox"/> 清音や濁音、半濁音、促音などの読み方を知り、具体物やイラストとマッチングする。 <input checked="" type="checkbox"/> 平仮名カードで単語を構成したり、書いたりする。 <input type="checkbox"/> 生活の中でよく目にする物などを取り上げて、文字に関心がもてるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童の実態に合わせて、平仮名を書いたり、文字カードから選んだりできるようにする。	

<p>1 2 3</p>	<p>お話を 楽し もう</p>	<p>18</p>	<p>○パネルシアターや絵本、紙芝居を見聞きし、お話の世界を 味わう</p> <p>○相手に伝わるよう、集団の前で動作や簡単な言葉等で発表 したり、活動したりする</p> <p>◆登場人物や話の中に出てくる言葉に関心をもち、台詞を声 に出したり、身振りで表現したりする。</p> <p>◆集団の前で短い台詞や身振りを発表したり、活動したりす る。</p> <p>□繰り返しの台詞や児童に身近な物が出てくる話を選ぶ。</p> <p>□児童の実態に合わせて、台詞カードや絵カードなどを使用 する。</p>	
----------------------	--------------------------	-----------	--	--

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	国語	グループ名	青	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (2) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (3) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしていその能力の向上を図る態度を養う。			
担当教員	○野中裕樹 港月乃（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば」偕成社 「子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび（上）ひらがな 50 音」太郎次郎社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	お話を楽しもう①	12	○絵本の読み聞かせ ○簡単な動作や台詞を用いた絵本の印象的な場面の再現 ◆場面ごとの登場人物の表情や動作が分かる。 ◆絵本の世界を楽しみ、自発的に活動に参加することができる。 □パネルシアターや絵本は、身近な絵が描かれているものを使用する。 □繰り返しの台詞や児童に身近な物が出てくる話を選ぶ。	
6 7	文字遊びをしよう①	12	○身近な事物や動作の名称 ○平仮名カードの組み合わせ ○平仮名の模写 ◆平仮名のマッチングや模写ができる。 ◆イラストや写真等の身近な平仮名に注目したり、教員と一緒に発声したりすることができる。 ◆身近な物の名称や動作などの平仮名に関心をもち、主体的に活動に取り組むことができる。 □物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。 □ルールが理解しやすいように、絵カードなどでルールを確認する。	
9	お話を楽しもう②	7	○昔話や神話・伝承など ○言葉の響きやリズム ◆登場人物や場面の展開が分かる。 ◆昔話の世界や、擬音語・擬態語を楽しみ、自発的に活動に参加することができる。 □繰り返しがあったり、結末が理解しやすかったりする物語を題材にする。 □登場人物や場面の展開が理解しやすい昔話を選ぶ。	
10 11	身近な言葉を知ろう	16	○平仮名で書かれた身近な単語や友達の名前 ○単語作り ◆文字と音を一致させることができる。 ◆平仮名カードで単語のマッチングをしたり、単語を作ったりすることができる。	



			<p>◆身近な物の名称や、自分や友達の名前、予定表、絵本などに出てくる平仮名に関心を持ち、主体的に読んだり、書いたりすることができる。</p> <p>□物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。</p> <p>□おもちゃのマイク等を使用し、発声を促す。</p>
12 1	お話を楽しもう③	11	<p>○劇遊び</p> <p>◆登場人物や場面の展開が分かる。</p> <p>◆登場人物や場面の变化に気づき、それに合わせた道具や動作を選択することができる。</p> <p>◆2人以上で台詞のやりとりをすることができる。</p> <p>□児童の実態に合わせて、台詞カードや場面カードなどを使用する。</p> <p>□児童がストーリーに合わせて道具を操作できるようにする。</p>
2 3	文字遊びをしよう②	12	<p>○身近な事物や動作の名称</p> <p>○単語作り</p> <p>◆平仮名を読んだり、マッチングしたりすることができる。</p> <p>◆役割を理解し、ゲームに取り組むことができる。</p> <p>◆身近な物の名称や動作などの平仮名に関心を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。</p> <p>□物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。</p> <p>□ルールが理解できるように、絵カードなどでルールを確認する。</p>

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	算数	グループ名	オレンジ	
ねらい	(1) 加法・減法や身の回りの図形に興味・関心をもち、数の変化に関する基本的な扱いや図形の要素の基礎を知る。 (2) 身の回りの事象の数や形・量に着目し、数の大小や言葉を用いて表現する力を養う。 (3) 算数で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○国吉美友紀（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」①（量概念の基礎、比較、なかま集め）」同成社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	身近な数	14	<input type="radio"/> 100 までの数の標記 <input type="radio"/> 加法の式づくり ◆100 までの数の順序数が分かる。 ◆文章を読んで加法の式を作ることができる。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かりやすい表やイラストを取り入れる。 <input type="checkbox"/> 日常生活場面で使用しそうな内容を取り入れる。	
6 7 9	身近な図形  時刻	14	<input type="radio"/> 三角以上のいろいろな形の理解 ◆具体物を用いて形を作ることができる。 ◆傾斜によってできる角の理解 ◆角の開き具合を「大きい・小さい」と表現することができる。 <input type="checkbox"/> 実際に操作できる教材を使用する。 <input type="radio"/> 時計の読み ◆日常生活の中で時刻を読むことができる。 ◆時間の単位を知る、それらの関係理解 <input type="checkbox"/> 日常生活の流れを示し、時刻との関連性をわかりやすくする。	
10 11 12	身近な数量	20	<input type="radio"/> 減法の式づくり <input type="radio"/> 繰り下がりの引き算 ◆10 のまとまりと端数がわかる。 ◆減法の場面を式で表すことができる。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かりやすい表やイラストを取り入れる。 <input type="checkbox"/> 日常生活場面で使用しそうな内容を取り入れる。	
1 2 3	身近な量	22	<input type="radio"/> 比較の単位 <input type="radio"/> 比較の計測 ◆個数を絵や図に表したり、読んだりすることができる。 ◆身の回りのデータを記号で表して比較することができる。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かりやすい表やイラストを取り入れる。 <input type="checkbox"/> 日常生活場面で使用しそうな内容を取り入れる。	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	算数	グループ名	緑	
ねらい	(1) 加法・減法や身の回りの図形に興味・関心をもち、数の変化に関する基本的な扱いや図形の要素の基礎を知る。 (2) 身の回りの事象の数や形・量に着目し、数の大小や言葉を用いて表現する力を養う。 (3) 算数で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○谷口学人 荒井理佳（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」①（量概念の基礎、比較、なかま集め）」同成社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	身近な数	12	<input type="checkbox"/> 20 までの数の標記 <input type="checkbox"/> 加法の計算、立式 <input checked="" type="checkbox"/> 20 までの数の数え方や表し方が分かる。 <input checked="" type="checkbox"/> 足し算の意味が分かり、和が 10 までの計算ができる。 <input type="checkbox"/> 20 までの数を数える活動を十分に行う <input type="checkbox"/> 「合わせていくつ」など日常場面の出来事を取り上げる。算数ブロックなどの半具体物を用いる。	
6 7	身近な図形	12	<input type="checkbox"/> ものの形（平面、立体） <input type="checkbox"/> 前後、左右、上下、何番目 <input type="checkbox"/> 角の開き具合「大きい・小さい」 <input checked="" type="checkbox"/> 丸、三角、四角の形を操作して形の特徴を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一定のものを基準としたものの位置の表し方が分かる。 <input checked="" type="checkbox"/> 角の大きさの違いが分かる。 <input type="checkbox"/> 具体的操作を多く取り入れ、体験的に捉えられるようにする。	
9	時刻①	6	<input type="checkbox"/> 時計の短針、長針、正時の時刻 <input checked="" type="checkbox"/> アナログ時計の正時の時刻を読むことができる。 <input type="checkbox"/> 短針と長針にそれぞれに着目しやすいように色を付ける。	
10 11 12	時刻②	20	<input type="checkbox"/> 30 分、5 分刻みの時刻 <input type="checkbox"/> 時間の単位（日、午前、午後、時、分）、時刻と生活 <input checked="" type="checkbox"/> アナログ時計の 5 分刻みの時刻を読むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 時刻と生活を結び付けて考えることができる。 <input type="checkbox"/> 補助目盛付きの時計から学習を始める。 <input type="checkbox"/> 日常生活の中で時刻を読む活動を取り入れる。	
1 2 3	身近な数量	20	<input type="checkbox"/> 100 までの数の表記、10 のまとまりと端数 <input type="checkbox"/> 減法の計算、立式 <input checked="" type="checkbox"/> 100 までの数の数え方や表し方が分かる。 <input checked="" type="checkbox"/> 引き算の意味が分かり、20 までの範囲で計算できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 加法か減法かを判断し、式に表すことができる。 <input type="checkbox"/> 10 のまとまりを使って数を数える活動を十分に行う。 <input type="checkbox"/> 具体物や絵図を用いて内容を読み取る力をつける。	

学 部	小学部	学 年	第6学年
教科等名	算数	グループ名	黄色
ねらい	<p>(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさに気付き、関心をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>		
担当教員	○森谷芳穂 村山亜美（年度途中での教員変更あり）		
年間授業時数	70 単位時間		
使用教科書	「ゆっくり学ぶ子のための『さんすう』①（量概念の基礎、比較、なかま集め）」同成社		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5	時計とたし算	16	<p>○5までの数字の理解</p> <p>○正時の理解</p> <p>◆5までの数を数唱したり、順番に並べたりする。</p> <p>◆「合わせていくつ」の意味を理解して和が5までの加法ができる。</p> <p>◆日常生活に結び付けておおよその時間を考えることができる。</p> <p>□児童にとって身近なものを用いて時計を読んだり、数えたりできるようにする。</p>
6 7 9	形あそび	18	<p>○具体物を用いて形を作る</p> <p>◆形遊びや形作りを通して、身の回りにある立体図形に親しむ。</p> <p>◆丸、三角、四角などの形を組み合わせて、見本と同じ形を作ることができる。</p> <p>□大型積木などを使い、身体全体で形の特徴を捉えられるようにする。</p> <p>□児童の実態に合わせて、形の見本カードや具体物の見本などを提示する。</p>
10 11 12	数えてみよう	18	<p>○10までの数量の理解</p> <p>◆10までの数字と数量を一致することができる。</p> <p>◆10を5のまとまりと端数で考えることができる。</p> <p>□具体物を操作することで、体験的に数の理解を深められるようにする。</p>
1 2 3	比べてみよう	18	<p>○具体物を用いての多少、長短、高低、重軽などの比較</p> <p>◆身近にあるものの量に関心をもち、具体物を使って比べることができる。</p> <p>◆比較の言葉を知り、日常生活の中で使うことができる。</p> <p>□具体物を用いて、比べられるようにする。</p> <p>□絵や写真とともに比較の言葉を伝え、慣れるようにする。</p>

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	算数	グループ名	青	
ねらい	(1)数のまとまりに興味・関心をもち、数量を数え、数の処理に関する基礎的な技能を身に付ける。 (2)身の回りの事象の数や形・量に着目し、まとまりや数の大きさを用いて表現する力を養う。 (3)算数で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○港月乃 野中裕樹（年度途中での教員変更あり）			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」①(量概念の基礎、比較、なかま集め)」同成社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	比べてみよう 分けてみよう ①	12	<input type="radio"/> 大小、多少、長短の分類や比較 <input checked="" type="radio"/> 大小、多少、長短の違いに気づき、具体物を操作しながら比較・分類することができる。 <input checked="" type="radio"/> 大小、多少、長短の言葉の意味を知る。 <input type="checkbox"/> 具体物を見たり、触ったりしながら、比較ができるようにする。	
6 7	数えてみよう	12	<input type="radio"/> 1～3までの数 <input type="radio"/> 具体物を分けて数に親しむ <input checked="" type="radio"/> 1～3までの数字を並べたり、数えたりすることができる。 <input checked="" type="radio"/> 1～3までの数字のマッチングができる。 <input checked="" type="radio"/> 具体物を操作しながら、数に親しむ。 <input type="checkbox"/> 数える時には声に出したり、操作したりすることで、理解を深める。 <input type="checkbox"/> 具体物を使用して、イメージをもちやすくする。	
9	色や形を知ろう①	7	<input type="radio"/> 色や形の分類や比較 <input checked="" type="radio"/> 色の違いに気付く。 <input checked="" type="radio"/> 具体物を操作して、色や形のマッチングを行う。 <input type="checkbox"/> 色や形を捉えやすいよう、絵が児童にとって分かりやすい絵本を用いる。 <input type="checkbox"/> 色を捉えやすいよう、教材は原色を用いる。	
10	色や形を知ろう①	8	<input type="radio"/> 色や形の分類や比較 <input checked="" type="radio"/> 色の違いに気付く。 <input checked="" type="radio"/> 具体物を操作して、色や形のマッチングを行う。 <input type="checkbox"/> 色や形を捉えやすいよう、絵が児童にとって分かりやすい絵本を用いる。 <input type="checkbox"/> 色を捉えやすいよう、教材は原色を用いる。	
11 12	比べてみよう 分けてみよう②	13	<input type="radio"/> 大小、多少、長短の分類や比較 <input checked="" type="radio"/> 大小、多少、長短の違いに気づき、具体物を操作しながら比較・分類することができる。 <input checked="" type="radio"/> 大小、多少、長短の言葉の意味を知る。 <input type="checkbox"/> 具体物を見たり、触ったりしながら、比較ができるようにする。	
1	色や形を知	18	<input type="radio"/> 色や形の分類や比較	

2	ろう②	◆色の違いに気付く。
3		◆具体物を操作して、色や形のマッチングを行う。 □色や形を捉えやすいよう、絵が児童にとって分かりやすい絵本を用いる。 □色を捉えやすいよう、教材は原色を用いる。

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	音楽	グループ名	第6学年	
ねらい	<p>(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○荒井理佳 国吉美友紀 谷口学人 村山亜美 柴垣卓正 西野弘純 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「うたえほんⅢ」 グランまま社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	色々な曲の変化を楽しんで演奏しよう	14	<p>○歌唱 「茶摘み」「手のひらを太陽に」「てとてととと」</p> <p>◆曲の速さや強弱、発音に気を付け、歌詞や曲の雰囲気を感じながら、伴奏に合わせて歌う。</p> <p>□歌詞に合わせてハンドサインをつけ、児童の実態に合わせて表現できるようにする。</p> <p>○器楽 「ドレミで弾こう」「かえるのがっしょう」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、簡単な楽譜を見て、伴奏に合わせて演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、木琴、ベルハーモニーなど</p> <p>□音色や強弱、リズムの違い、楽器の役割を感じながら音を鳴らす。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>○音楽づくり 「いろいろリズム」「音あてクイズ」</p> <p>◆楽器を演奏しながら曲の一部を作り、音を選んだりつなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだり、つなげたりする面白さに気付けるように簡単なリズム・パターンの曲を選ぶ。</p> <p>○身体表現 「リトミック」「ドラムサークル」</p> <p>◆ピアノの音を聴きながら、教員の動きを模倣したり、リズムを感じ取ったりして身体表現する。</p> <p>□ペアや輪になり、友達と一緒に表現することができるようにする。</p> <p>○鑑賞 「クシコスポスト」「たなばたさま」</p> <p>◆演奏楽器の音色や演奏方法の違いに注目して見たり、聴いたりしながら、曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>□リズムや速度、旋律、季節など親しみやすい曲を選曲する。</p>	

<p>10 11 12</p>	<p>テンポやリズムを意識して表現しよう</p>	<p>12</p>	<p>○歌唱「世界がひとつになるまで」「夕やけこやけ」「ホ！ホ！ホ！」</p> <p>◆曲の速さや強弱、発音に気を付け、歌詞や曲の雰囲気を感じながら、伴奏や友達に合わせて歌う。</p> <p>□歌詞に合わせたハンドサインをつけ、児童の実態に合わせて表現できるようにする。</p> <p>○器楽「村まつり」「オーバーザレインボウ」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、簡単な楽譜を見て、伴奏や友達に合わせて演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、ベルハーモニー、和太鼓など</p> <p>□音色や強弱、リズムの違い、楽器の役割を感じながら音を鳴らす。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>□日本の伝統楽器について知り、興味をもって見たり、聴いたりできるようにする。</p> <p>○音楽づくり「リズムでGo!」「音あてクイズ」</p> <p>◆音符を組み合わせながら曲の一部を作り、音を選んだり、つなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだり、つなげたりする面白さに気付けるように、音符や音の視覚的教材を活用する。</p> <p>○身体表現「羽ばたき祭の演目のダンス」「ドラムサークル」</p> <p>◆曲に合わせて拍やリズムを感じながら、教員や友達と一緒に楽しく身体を動かす。</p> <p>□児童が覚え、楽しく踊ることができる振り付けなど、表現方法を工夫する。</p> <p>○鑑賞「そりすべり」「シンコペイテッドクロック」</p> <p>◆鑑賞についての知識を得たり、活かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、身体で表現しながら楽しく聴く。</p> <p>□楽しみながら聴くことができるよう、生演奏や視聴覚機器などを工夫する。</p>	
<p>1 2 3</p>	<p>曲の雰囲気を感じて心を込めて表現しよう</p>	<p>9</p>	<p>○歌唱「君が代」「校歌」「卒業のうた」</p> <p>◆卒業式に向けて、曲の歌詞や曲の雰囲気を感じて心を込めて歌う。</p> <p>□歌詞の意味を伝え、卒業をイメージして心を込めて歌えるようにする。</p> <p>○器楽「よろこびの歌」「ジャンプどん」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、伴奏や友達に合わせて、指揮者を見て演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、ベルハーモニー、和太鼓など</p> <p>□伴奏や友達の音を聴きながら、指揮者に注目できるようにする。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>○音楽づくり「たべたいものなあに？」</p> <p>◆音符を組み合わせながら曲の一部を作り、音を選んだりつなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだりつなげたりする面白さに気付けるように、音符や音の視覚的教材を活用する。</p> <p>○身体表現「リトミック」「ドラムサークル」</p> <p>◆ピアノの音を聴きながら、教員の動きを模倣したり、リズムを感じ取ったりして、友達と一緒に身体表現する。</p> <p>□ペアや輪になり、友達と一緒に表現することができるようにする。</p> <p>○鑑賞「さくらさくら」</p> <p>◆鑑賞についての知識を得たり、活かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、身体で表現したりして楽しく聴く。</p> <p>□楽しみながら聴くことができるよう、生演奏や視聴覚機器などを工夫する。</p>	



学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	図画工作	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 形や色などの造形的な視点に気が付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 進んで表現や鑑賞に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○森谷芳穂 ○国吉美友紀 ○西野弘純 谷口学人 村山亜美 柴垣卓正 港月乃 野中裕樹 荒井理佳			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「あそびの絵本 23 えかきあそび」岩崎書店			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ちぎり絵や 貼り絵をしよう	6	<p>○アメリカ合衆国、チェコ共和国、赤道ギニア共和国、インド、パラオ共和国等の国旗の配色をもとに旗を作る</p> <p>○ちぎる、貼る、塗る等して作品を作る</p> <p>◆絵の具やペンを使って、国旗を描くことができる。</p> <p>◆スクラッチや吹き流し、はじき絵などの技法を使って制作に取り組むことができる。</p> <p>□いろいろな国や国旗があることに興味をもち、作品作りを楽しめるように、国旗のイラストや写真を提示する。</p> <p>□「消防写生会」や「体育授業発表会」のイメージをもって制作に取り組めるよう、昨年度までの写真を提示する。</p>	
6 7	染めよう	14	<p>○紙を染める活動に取り組み、色の変化を楽しむ。（折り染め、マーブリング）</p> <p>○色の組み合わせに関心をもち、自分の好きな色や素材を選んで制作することができる</p> <p>◆色やにじみ、模様の変化に関心をもち、工夫しながら活動に取り組むことができる。</p> <p>◆完成図をイメージし、色の付け方や紙の折り方を考えて制作することができる。</p> <p>□色や模様の変化に気付きやすいような用具の準備や作業のポイントの提示をする。</p> <p>□完成品の例を示し、出来上がりの見通しがもてるようにする。</p>	
9	コラージュ をしよう	10	<p>○好きな動物や乗り物、風景等の有形のもの、自由にイメージした無形のものなど、表現したいものに合わせて紙を切り貼りした作品制作</p> <p>○広告の写真や雑誌、絵本の切り抜き、様々な感触の素材などを使ったコラージュ</p> <p>◆身近な物や風景の形や色、特徴に気付き、自発的に活動に取り組むことができる。</p> <p>◆自分の表現したいことに合わせて構図を考え、素材を選んだり、加工したりすることができる。</p> <p>◆色の重なりや素材の重なりを工夫して制作することができる。</p>	

			<input type="checkbox"/> デジタルカメラ、タブレット端末など、児童の実態に応じて使用する機材を選択する。 <input type="checkbox"/> 児童の実態に応じてものの特徴に気付けるような言葉掛けをしたり、素材を貼りつけるための下絵を用意したりする。
10	粘土で作ろう	10	<input type="checkbox"/> 自分が表現したいことに応じて形を変化させることができる <input checked="" type="checkbox"/> イメージをもって制作に取り組み、それに合わせて素材を加工することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 素材の感触を楽しみながら、主体的に制作に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> これまで扱ってきた種類の粘土とは質感や扱い方が異なる素材も使用する。 <input type="checkbox"/> 色や形の変化に気付けるような課題設定や言葉掛けをする。
11 12	スチレン版画をしよう	12	<input type="checkbox"/> 版画の仕組みを理解し、版を写し取って色が付くことに気付いて楽しむ <input type="checkbox"/> 複数の色のインクを使って、版画を刷る <input checked="" type="checkbox"/> 彫った線や形は紙に写し取ることができることが分かり、完成のイメージをもって版の制作に取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ローラーやばれんの使い方が分かり、目的に応じて使うことができる。 <input type="checkbox"/> 完成品の例を示し、出来上がりの見通しがもてるようにする。 <input type="checkbox"/> 道具の使い方が分かるような視覚提示をする。
1 2	季節を感じよう	12	<input type="checkbox"/> 季節の雰囲気が感じられる壁面作品や立体作品 <input type="checkbox"/> 墨汁や絵の具などの画材、スタンプやフロッタージュなどの技法を使った作品制作 <input type="checkbox"/> のこぎりを使った木材の加工 <input type="checkbox"/> 枝葉や石などの自然物を使った制作 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感や素材の感触、色、形の違いに関心を向けながら、制作に取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 素材ごとの加工の仕方を理解し、適切な道具を選択して、活用することができる。 <input type="checkbox"/> 季節のイメージをもって活動ができるよう、行事や食べ物、風景のイラストや写真を示す。 <input type="checkbox"/> 道具の使い方だけでなく、注意点も提示し、自立的安全に作業ができるようにする。
3	アルバムを作ろう	6	<input type="checkbox"/> 学校で好きなものや場所、風景等を撮った写真を基に、作るコラージュや額縁の制作 <input checked="" type="checkbox"/> 表現したいことに合わせて構図を考え、素材を加工したり、道具を使ったりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 色の重なりや素材の加工の仕方を工夫して制作することができる。 <input type="checkbox"/> 年間を通してどのような作品を制作したかを振り返りながら、活動ができるような視覚提示をする。 <input type="checkbox"/> 身近な物の色や形に注目できるような言葉掛けをする。

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	体育	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようになる。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○谷口学人 ○村山亜美 柴垣卓正 西野弘純 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹 国吉美友紀 荒井理佳			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本 2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	5	<input type="radio"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="radio"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="radio"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="radio"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="radio"/> 大玉転がし <input checked="" type="radio"/> 友達と協力して大玉を転がすことができる。 <input type="radio"/> 身体表現 <input checked="" type="radio"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のを知ろう	6	<input type="radio"/> スポーツテスト <input checked="" type="radio"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	水泳をしよう	8	<input type="radio"/> 水泳（水慣れ・顔つけ・バブリング・ボビング・バタ足・かえる足等） <input type="radio"/> 水中ゲーム（輪くぐり・宝探しなど） <input checked="" type="radio"/> ビート板やヘルパーを利用して、ばた足やかえる足で泳ぐことができる。 <input type="checkbox"/> プールでは水底板を使用し、安心して活動ができるようにする。	
10 11 12	器械・器具 を使って運動しよう	10	<input type="radio"/> 固定施設を使った基本的な運動（平均台） <input checked="" type="radio"/> 平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。 <input type="radio"/> 器具を使った基本的な運動（マット⇒連続横転・前転など）（鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど）（跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど） <input checked="" type="radio"/> 発展的な回転（後ろ転がり、連続前転など）ができる。 <input checked="" type="radio"/> 身体を支持した状態から体を前後に振ったり、前回り降りをしたりすることができる。 <input checked="" type="radio"/> ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しができる。	

			<input type="checkbox"/> 手や足を着く位置に印を付ける。 <input type="checkbox"/> 児童にあった大きさの器具を使用する。	
1 2 3	ボール運動	6	<input type="checkbox"/> 投げる・転がす・捕る・蹴る運動 <input type="checkbox"/> キックベース <input checked="" type="checkbox"/> 友達同士でキャッチボールができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 転がってきたボールを蹴ったり、捕ったり、止めたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 柔らかく捕りやすいボールを使用する。 <input type="checkbox"/> 立つ位置を丸マットで分かり易く示す。 <input type="checkbox"/> 蹴る前にボールが転がらないように固定する。 <input type="checkbox"/> チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。	

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	体育（朝の運動）	グループ名	普通学級（知的、自閉）	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようになる。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○谷口学人 ○村山亜美 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹 国吉美友紀 荒井理佳			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	19	<input type="radio"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 教員と一緒に集団行動がとれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の支援で集団行動がとれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="radio"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> 教員とゴールまで走ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ゴールまで走ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="radio"/> 大玉転がし <input checked="" type="checkbox"/> 教員と一緒に大玉を転がすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の言葉掛けを受けて大玉を転がすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して大玉を転がすことができる。 <input type="radio"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 教員と一緒に部分的な動きを模倣して踊ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の見本を見ながら模倣して身体を動かす。 <input checked="" type="checkbox"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のことを知 ろう	18	<input type="radio"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> テストの流れを覚え、見通しをもって取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力に興味をもって取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	継続して走 ろう①	9	<input type="radio"/> 周回走 <input checked="" type="checkbox"/> 一定時間止まらずに走る・歩くことができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	

10 11 12	継続して走 ろう②	26	<input type="radio"/> 10 分間走 <input checked="" type="checkbox"/> ペースを保って、走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	
1 2 3	継続して走 ろう③	33	<input type="radio"/> 10 分間走（グラウンド外周） <input checked="" type="checkbox"/> 速いペースで走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	体育(25分体育)	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようになる。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○谷口学人 ○村山亜美 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹 国吉美友紀 荒井理佳 柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	21 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本 2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	2	<input type="checkbox"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="checkbox"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="checkbox"/> 大玉転がし <input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して大玉を転がすことができる。 <input type="checkbox"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のを知ろう	2	<input type="checkbox"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	体の変化を 知ろう(保健)	5	<input type="checkbox"/> 身体の変化を知る <input type="checkbox"/> 病気・感染症について <input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、自分の身体の変化や体調の不調(発熱、咳など)を意識することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、男女の違いや距離の取り方を知り、意識することができる。 <input type="checkbox"/> スライドや映像資料を用意する。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かる内容を用意する。	
10 11 12	器械・器具 を使って体 を動かそう	6	<input type="checkbox"/> 固定施設を使った基本的な運動(平均台) <input checked="" type="checkbox"/> 平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。 <input type="checkbox"/> 器具を使った基本的な運動(マット⇒連続横転・前転など)(鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど)(跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど) <input checked="" type="checkbox"/> 発展的な回転(後ろ転がり、連続前転など)ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 身体を支持した状態から体を前後に振ったり、前回り降りをしたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しがで	

			きる。 <input type="checkbox"/> 手や足を着く位置に印を付ける。 <input type="checkbox"/> タブレット端末等を使用し、体の動きを視覚的に示す。	
1 2 3	ボール運動	6	<input type="checkbox"/> 投げる・転がす・捕る・蹴る運動 <input type="checkbox"/> キックベース <input checked="" type="checkbox"/> 友達同士でキャッチボールができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 転がってきたボールを蹴ったり、捕ったり、止めたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 柔らかく捕りやすいボールを使用する。 <input type="checkbox"/> 立つ位置を丸マットで分かり易く示す。 <input type="checkbox"/> 蹴る前にボールが転がらないように固定する。 <input type="checkbox"/> チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。	



学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	日常生活の指導	グループ名	普通学級（知的）	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身辺処理を、見通しをもって自分で行えるようにする。 (2) 学校生活の基本的なルール理解の定着を図る。			
担当教員	○野中裕樹 港月乃 村山亜美 国吉美友紀 森谷芳穂			
年間授業時数	399 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	新しい教室 に慣れよう	80	<input type="checkbox"/> 楽しい学級や学校生活に慣れる <input type="checkbox"/> 身近な教員や友達と集団で行動する <input type="checkbox"/> 教室や靴箱等の位置、教室の自分の席・ロッカー等の配置を理解して正しく使用する <input type="checkbox"/> 基本的な生活のルールを守り、安全に学校生活を送る <input type="checkbox"/> ヘルプカード（ヘルプマーク）について知る <input checked="" type="checkbox"/> 新しい学級集団の一員として認識し、行動できるようになる。 <input checked="" type="checkbox"/> 名前カードや印を手掛かりに、自分の荷物等を、所定の位置に整理することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 <input type="checkbox"/> 名前や色テープ等を活用して、自分の使用する場所が分かるようにする。 <input type="checkbox"/> 実物を提示して知らせる。	
6 7	できることを増やそう ～朝の会、帰りの会、係の仕事等～	80	<input type="checkbox"/> 日課に沿ってスケジュールを覚えて行動したり、落ち着いて過ごしたりする <input type="checkbox"/> 係の仕事をする <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活のおおよその予定が分かり、見通しをもって行動できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の係仕事を理解して、必要な場面で取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 絵カードや平仮名で提示をしてスケジュールを示す。	
9	自分のことは自分でしよう① ～衣服の着脱、整理等～	45	<input type="checkbox"/> 靴の履き替えをする <input type="checkbox"/> 衣服の着脱を行う <input checked="" type="checkbox"/> 立位で靴の履き替えができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 前後左右裏表などを間違えずに服の着脱や靴の履き替えができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 服をたたんで袋や風呂敷に入れるなどの整理ができる。 <input type="checkbox"/> 服の前後が分かるように印を付ける。 <input type="checkbox"/> 大きな風呂敷を使って整理整頓をする。	
10 11 12	自分のことは自分でしよう② ～給食前の身支度、歯磨き等～ 身の回りを	99	<input type="checkbox"/> 給食の身支度をする <input type="checkbox"/> 歯みがきをする習慣を身に付ける <input checked="" type="checkbox"/> 給食前後に必要な身支度や片付けができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な身辺処理ができる。 <input type="checkbox"/> 身の回りをきれいにする（ごみ捨て、机拭きなど） <input checked="" type="checkbox"/> 台布巾を水が滴らなくなるまで絞ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 絵の具や食べこぼしで汚れた机を拭くなど、身のまわりを	

	きれいにしよう～掃除～		きれいにする習慣を身に付ける。 □イラスト付きの手順書を使用して歯磨きに取り組む。
1 2 3	清潔に過ごそう きまりを守って生活しよう	95	○手洗い、うがいをする ○健康や安全に気を付け、身の回りを整える ◆石鹸をつけて手洗いをする事ができる。 ◆ハンカチで水滴がなくなるまで手を拭くことができる。 ◆口にためた水でぶくぶくうがいやガラガラうがいをする事ができる。 ○簡単なきまりを守る。 ◆「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」などを伝えることができる。 ◆始まりや終わりの時間を意識して、集団に自分の行動を合わせる事ができる。 ◆順番を意識して移動する事ができる。 □イラスト付きの手順書を使用して取り組む。 □約束やきまりをイラストなどで分かりやすく提示する。
通年	登校後（荷物整理、着替え、係活動、課題、朝の会） 給食前後（準備、食事、片付け、教室整備） 下校前（着替え、荷物整理、帰りの会）		含まれる各教科の内容 ・生活 基本的な生活習慣、日課・予定、人との関わり、役割、手伝い・仕事、きまり、生命・自然 ・国語 聞く・話す（名前呼び） ・算数 数量（人数、出席調べ）、実務（暦） ・道徳 節度・節制（予定の把握・身辺自立） 礼儀・感謝（挨拶、お礼） 規則の尊重（ルールを守る、約束を守る）

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	生活単元学習（学年）	グループ名	普通学級（知的・自閉）	
ねらい	(1)生活に必要な経験を重ねていく中で、基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2)教員や友達と協力して活動する楽しさを味わう。 (3)体験的な学習を通して、自然や社会との関わりや公共のルールを知る。 (4)単元の中で、複数の活動を経験し、活用できることを増やす。（プログラミング学習）			
担当教員	○野中裕樹 ○港月乃 荒井理佳 国吉美友紀 谷口学人 村山亜美 森谷芳穂			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	メダルをもらおう	7	○図書室や学校周辺の施設、店、公共交通機関等の利用 ○楽しかったことやどんなことをしたか等の活動の振り返り ◆施設の使い方や横断歩道の渡り方、公共交通機関の利用する基本的なルールを知る。 ◆個々の表現方法で発表できる。 □授業の始めに交通マナーや公共交通機関の使い方を確認し、意識できるようにする。	
5	傘をさそう	5	○傘をさして歩く練習 ◆傘を開閉の仕方を学び、傘をさして歩くことができる。 ○雨天での傘さし歩行 ◆雨の日に1列に並んで校庭を歩くことができる。 □イラストや画像を活用し、開閉時の手で持つ位置が分かるようにする。頭を覆うように持つなどのポイントを明確にする。	
6	学習用タブレットを使ってみよう	3	○校外学習や移動教室に向けての調べ学習 ◆タブレット端末の使い方を知る。 □1人1台タブレット端末を用意する。	
	移動教室を成功させよう	10	○スケジュールの把握 ○公共施設でのマナーや利用方法 ○身辺処理（荷物整理や入浴等）及び係活動 ◆スケジュールをおおまかに理解して自主的に活動することができる。 ◆交通ルール、公共施設などのルールやマナーを守り、利用することができる。 ◆荷物整理や入浴など身辺処理はなるべく自分で行うことができる。	
7	掃除をしよう	10	□宿泊に必要な活動（歩行、入浴、荷物整理など）を行う。 ○教室や廊下の清掃活動 ◆手順書を手がかりに見通しをもって活動することができる。 ◆教員や友達と協力して、机運びや雑巾がけができる。	
	50周年を祝おう	2	□写真を活用して、手順表や順番表を提示する。 ○50周年キャラクターの塗り絵など ◆創立50周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。 ◆イメージキャラクターに親しみをもつことができる。 □イメージキャラクターの誕生日を祝う視覚教材を提示することで、50周年へのイメージがもてるようにする。	

9	英語を楽しもう  パーティーをしよう(調理)	6  8	<p>○英語による音楽やゲーム</p> <p>◆友達やALTと一緒に活動することができる。</p> <p>◆外国のことを学びながら、友達と英語に親しむことができる。</p> <p>□写真や絵カードを提示し、イメージがもてるようにする。</p> <p>○材料の購入、パフェの調理</p> <p>○調理学習における準備や片付け</p> <p>◆手順書を手がかりに見通しをもって調理することができる。</p> <p>◆教員や友達と協力して、準備や片付けに参加ができる。</p> <p>□調理器具や材料・作り方の手順を歌や写真を活用して提示する。</p>
10	修学旅行を成功させよう	5	<p>○スケジュールの把握</p> <p>○公共施設のマナーや利用方法</p> <p>◆スケジュールを理解し自主的に活動することができる。</p> <p>◆交通ルール、公共施設などのルールやマナーを守り利用することができる。</p> <p>□写真やイラストを活用しスケジュールやルール等を視覚的に分かりやすく示す。</p>
	50周年を祝おう	2	<p>○50周年キャラクターの塗り絵やお祝いの手紙を書く</p> <p>◆創立50周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。</p> <p>◆イメージキャラクターに親しみをもつことができる。</p> <p>□イメージキャラクターの誕生日を祝う視覚教材を提示することで、50周年へのイメージがもてるようにする</p>
11 12	羽ばたき祭をしよう	17	<p>○発表内容の計画や、係分担の選択</p> <p>○羽ばたき祭での買い物学習</p> <p>○役割の演技、ダンス、演奏、タブレットを使った鑑賞</p> <p>◆見通しをもち、教員や友達と協力して活動する楽しさを味わうことができる。</p> <p>◆品物を選ぶ、お金を出す等の手順をイラストで分かりやすく示す。</p> <p>◆友達と関わりながら発表できる。</p> <p>□発表内容を分かりやすく示し、個々の希望をできる限り取り込む。</p>
1	公共施設を利用しよう	12	<p>○公園や駅などの公共機関の利用、券売機での切符の購入練習(ICカードの利用方法)、乗車、下車の方法について</p> <p>◆公共機関の利用の方法を知る。</p> <p>□手順やルールを視覚化して示したり、券売機のプレを作り練習したりする。</p>
2 3	卒業式を成功させよう	18	<p>○卒業式の流れの把握、証書授与の練習や歌などの練習</p> <p>○卒業アルバムの制作</p> <p>◆卒業式の流れを知り、見通しをもって活動することができる。</p> <p>◆小学部での学習等を写真で振り返ることができる。</p> <p>□写真やイラスト等、視覚支援し、イメージをもちやすくする。</p> <p>□立ち位置にマットを置くなどして、出来る限り一人で証書授与ができるようにする。</p>

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	生活単元学習（知的）	グループ名	普通学級（知的）	
ねらい	(1) 生活に必要な経験を重ねていく中で、基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) 教員や友達と協力して活動する楽しさを味わう。 (3) 体験的な学習を通して、自然や社会との関わりや公共のルールを知る。 (4) 単元の中で、複数の活動を経験し、活用できることを増やす。（プログラミング学習）			
担当教員	○野中裕樹 ○森谷芳穂 国吉美友紀 村山亜美			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「くもんのせいかつ図鑑 生活道具カード」くもん出版 「やさしいからだのえほん① からだのなかはどうなっているの？」金の星社 「くもんのせいかつ図鑑カード たべものカード」くもん出版			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	クラスの友達と仲良くなろう	6	○簡単なダンスやゲーム ◆5年生で学習したゲームなどを思い出して選択する。 ◆新しい環境に慣れ、チームの友達を写真カードで選んだり、一緒に踊ったり、ゲームをしたりする。 □児童同士で取り組めるダンスや活動を設定する。 □児童の顔写真を使用する。	
5 6	ゲームをしよう①	14	○簡単なルールのあるゲーム ◆ゲームのルールを理解し、楽しみながら活動する。 ◆授業の流れや予定を理解し、見通しをもって参加する。 □ゲームのルールは、児童の実態に合わせて分かりやすいものにする。 □集団で取り組みやすい活動を設定する。	
7 9	季節のあそびをしよう①	11	○夏祭りのお店を作り、お客さんを招待する ◆模擬店の準備や説明をすることで、友達を意識して一緒に楽しく活動する。 ◆友達との関わりや夏祭りの活動を楽しむ。 □児童の手作りおもちゃを通して遊ぶ場面を設定する。 □児童同士のやりとりや役割を明確にした活動を設定する。	
10 11 12	ゲームをしよう②	21	○簡単なルールのあるゲーム ◆同じチームになりたい友達を写真カードで選んだり、勝敗を意識したりして、ゲームを楽しむ。 ◆授業の流れや予定を理解し、見通しをもって参加する。 □ゲームのルールは、児童の実態に合わせて分かりやすいものにする。 □集団で取り組みやすい活動を設定する。	
1 2	季節の遊びをしよう②	12	○正月遊び、節分 ◆季節の遊びを知り、作成したり、行事を体験したりする。 ◆季節的行事や伝統的行事に親しみ、友達と楽しむ。 □児童が自主的に取り組めるよう、手順書を用意したり、教員の手本などを見せたりする。	
3	この1年を、小学部の6年間を振り	6	○お世話になった方々へ感謝の気持ちを表す ◆小学部6年間の活動を振り返りながら、自分の成長を意識し、中学部への思いを高める。	

	<p>返ろう</p>	<p>◆自分の成長を支えてくれた家族や学校の方々への感謝の気持ちを持ち、制作活動に取り組む。</p> <p>□小学部6年間のまとめができるよう、ビデオや写真を活用する。</p> <p>□制作活動では、自主的に取り組めるよう、手順書などを用意する。</p>	
--	------------	---	--

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う